



中ノ浦教会ルルド前にて

島のひかり ホームページアドレス  
<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会  
 広報委員会  
 五島市平蔵町2716  
 TEL 0959-00072  
 印刷・(株)才津印刷所

## 祈りは携帯電話

主任司祭 眞浦 健吾

今の時代は本当に便利なものばかりになってきました。携帯電話もその一つだと思います。それさえ持っていれば、いつでもどこにいても、話をしたい人と話すことが出来るからです。また、写真や動画を撮ったり、テレビも見られるし、様々な機能があります。しかし、悲しいことに、私はまだ十分にそれらの機能を使いこなしていません。

信仰の道具に祈りがあると、前回の島のひかりに書きました。要理問答には「祈りとは、神をおがみ、そのご恩を感謝に、罪のゆるしと恵みとを願うために、心を神にあげて、神と語ることです。またいつでも祈ることが出来ます。特に朝晩、食事や仕事のあとさき、病気、災難、困難、誘惑の時に祈ります」とあります。「祈りをする」ということが難しいなあ」とか「祈とう

書をもたなければ祈りができない」という方もいると思います。祈りをすることはそんなにむずかしいものではありません。

教会共同体で、家族みんな祈りをするときは祈とう書や共通のものがあるかもしれませんが、個人的に祈るときは、心を神様にあげること、頭の中で、神様のことを考えるだけでも祈りとなります。祈りを携帯電話みたいにも、どこにいても神様と話せる、神様に自分の事を知らせることが出来るように使いこなせばいいなあと思います。祈りの機能はひとつだけではありません。祈とう書を使っただけでも大切ですが、自分のことばで、自分オリジナルの祈り方を身につけてください。

いつでも、どこにいても神様とつながっている携帯の祈り電話を持ってください。何回神様にかけても、つまり祈りをして決めて神様はいやがりはしないと思います。

# 上五島巡礼の旅

江袋教会再建を祝っての上五島巡礼の旅は、「天気」と「人」に恵まれた素晴らしい旅でした。

頭ヶ島教会、青砂ヶ浦教会をはじめ16の教会を巡りましたが、どの教会も信仰の息遣いが聞える程すみずみまで手入れが行き届いていました。

眞浦神父様の古里、仲知教会では神父様のお母様や親戚の方々による、ふくれ餅のもてなしを受け「人」との出会いに感謝致しました。

再建なった江袋教会は仲知教会の巡回教会で、眞浦神父様にとっても親戚の方々も多く、翌日の神父様司式のミサでは信徒代表の同級生が侍者役を務められました。

三年三ヶ月に及ぶ再建の道程に思いをさせた記念ミサは、感動に包まれた一時でした。

39名の同行の皆様にも感謝申し上げます。

木口 利光



江袋教会 眞浦神父様のミサ

六月五日・六日の両日、眞浦神父様以下三十八名は、上五島巡礼を行なった。檜ノ浦港より木口汽船（ソレイユ）をチャーターし、先ずは若松島のキリシタン洞窟にしばし見入る。さあよいよ最初の教会、土井の浦・桐・中ノ浦・大曾・青方教会で昼食、頭ヶ島・丸尾・仲知・米山で一日目を終了。温泉荘で今日の疲れをいやす。二日目、再建された江袋教会で眞浦神父様司式によるミサ。神父様、想いが込み上げて説教が詰まる。そ

の後、青砂ヶ浦・冷水・鯛ノ浦・五島灘と山岳を眺めながら浜串福見で二日目の巡礼を終えた。

振り返って見ると、上五島は厳しい条件の中に教会が建てられ、その中で生きた強い信仰を見る事が出来た。何度も上五島には行ったが、メンバーが替われば又、新鮮な気持ちになるから不思議です。神父様のお母さん「ふくれもち」御馳走さまでした。バスの運転手さん、お疲れさまでした。感謝のうちに。

竹山 要司



去る六月五日から六日、一泊二日にて若松島、中通島の教会を巡る旅に参加しました。

大小様々な教会を巡り、それぞれの教会を守っている方々との出会いがありました。

特に三年前全焼と言われた江袋教会では、再建された教会でミサをご一緒し、お茶をいただきながら、焼失時の教会の状況、そこからの教会修復の過程について話を聞くことができ、修復時には焼け残った部材を削り、利用してきたことなどは、教会への深い気持ちを感じることができました。

今回の旅をとおして、教会の歴史の一端を知ることができ、私たちの教会について考える良い機会となりました。旅を企画し、お世話くださった、眞浦神父様とスタッフの方々ありがとうございました。

鍋内 総長

上五島巡礼は参加者約40名が教会に着いて記念写真をパチリ、スタンプをペタン、祈ってアーメン、祭壇でパチリと巡ったり16ヶ所、バスからだど……?とにかく忙しかった。それぞれの教会は美しく、特にステンドグラスが眩しかった。祈るごとに自分の信じている神はスゴイを実感!!

今回の目的地、江袋教会、焼失から復元は信者さんの熱い心が愛の証を拠所をとの祈りが神に届いたのだと故郷でのミサで涙する神父様をみて思った。同級生の「あまり美味しいのを食べさせないで」の弁あり。江袋で頂いたふくれ饅頭の数は母の愛、教会の喜び、自慢のと七々八個にもなったのです。おもてなしのパワーが巡って、教会復元のための善意となって返ってきたのでしょうか。今回はステキがいっぱいの旅でした。「井の中の蛙大海を知って、足もと知らずがばれ」

おそまつ 江口 初子

巡礼の朝、快晴やったー。さい先いいぞ！ 波もなく出航。感動・感謝の二日間でした。美しい花、それぞれにすてきな教会、人々、江袋での御ミサは歌声、説教、ふくれ団子での心温まるお茶会、仲知教会では、持てない程のお茶と手作りのお菓子等、まけないほどの思い出をいただきました。ありがとうございました。

赤尾 貴代子



懇親会のひとこま（温泉荘にて）

### カトリック長崎大司教区連合 婦人会創立30周年記念講演会

6月26日、福江教会にて熊本



慈恵病院看護部長、田尻由貴子氏を講師としてお招きし、「輝くいのちをみつめ ともに歩むには」のテーマのもと心に残るすばらしいお話しをして頂きました。「こうのとりのゆりかご」の設置にあたっては、「命の救済」、「親の子捨て助長」という世論を二分するかたちで全国的に賛否両論が巻き起こり、依然として決着がついておらず、「設置するが使われないでほしい。」という矛盾を抱えながら運営せざるを得ないところに難しさがあり、大変な御苦労もありでしたが、「小さな命を救いたい、助けを願う人がいる限り、そのお手伝いをしていきたい。」との力強い信念を持たれたお言葉は印象的でした。田尻さんは、とても明るく優しい方でした。

## ルルド祭

5月30日(日)、清々しい晴天に恵まれたこの日、浦頭より車で一路約37km、1時間弱をかけて、玉之浦の井持浦ルルド祭に出掛けました。(久々の長いドライブで、福江島の広さを実感) 井持浦には下五島地区の各教会の信徒が遠路はるばる、たくさん集ってました。

そして、聖母行列・御ミサに皆であずかり、マリア様の御加護を共に祈りました。



ルルド祭の様子

# 喜びの丘にひびいて

## ―眞浦神父様 誕生会―

日ましに濃くなってくる緑にふちどられた坂を、元気にあふれた子供達の歓声が次第々々にかけ上り、神羊館を包み込む。

六月十三日、神父様の誕生日を祝う為に、子供達を含めて六十四名が集った。議長の竹山要司さんが、信徒に対する懸命な指導を心のこもった言葉で感謝し、日頃のお礼を花束にこめて、眞浦神父様の両手にそれが渡されると、満面の笑顔がうれしさ



を物語り、なごやかな波紋が集いの中を伝波して行く。

いつも、子供達が大好きで大切に関わってくれる神父様に対して、子供達を代表して梅木竜次君がお礼の言葉を述べた。

「神父様いつも僕達を指導してくれてありがとうございます。侍者として朝ミサに行くのが寒い時はつらいと思う事もあるけど、神様の為に神父様の手助けをしっかりと行って行きたいと思えます。侍者旅行とっても楽しかったので又、連れて行って下さい。」

これからも病気をしない様に注意しながら、がんばって下さい。」

準備された料理に、浦頭教会を代表する太公望達が釣り上げた魚達も加わり、場の色どりが鮮やかさを増して行く。さらに、奥小と奥中、それぞれの子供達が元気良く校歌を熱唱。舞台上にかけ上がった神父様がその輪に加わり、写真のフラッシュが一瞬きらめいた。

## 堂崎・半泊作業

梅雨の真只中、雑草も勢いを見せ、私達の手に掛かるのを待っているかの様です。

七月十一日、午前十時より壮年会と婦人会（浦頭一班と堂崎）は、堂崎天主堂周辺の草刈、シメオン会は、半泊教会周辺の草刈に汗を流した。

当日は雨も降らず、さわやかな風が吹く中、心地よく作業を終える事が出来た。皆さん大変お疲れさまでした。

秘

跡

### ○洗礼

二〇一〇年五月七日  
パウロ 赤尾 颯太  
(小倉教会)

良樹・加奈

### ○結婚

二〇一〇年五月一日  
ヨハネ 入口 信(堂崎)  
父仁兵・母悦子

マリア 竹山 理恵(浦頭)  
父要司・母スミ子

二〇一〇年五月二十九日  
今村 剛喜

アガタ 本村香奈子(浦頭)  
父長明・母ツル子

### ○永遠の安らぎを

二〇一〇年四月二十三日  
マリア・マグダレナ

鍋内 キク 九十五才(浦頭)  
二〇一〇年六月三日

シスタークララ  
浜口スマエ 九十才(浦頭)

『聖母月に寄せて』

一ねん なべうち りく

ときどきこれなかった。ロザリオのたまはかぞえられなかった。せいかしゅうのページがあげにくかった。こんどからがんばっておいのりにきたいとおもいます。しらないうたがいっぱいあった。こんどのロザリオはがんばってしたいです。いっばいおいのりをしたいです。もっとおいのりをおぼえたいです。ロザリオをわすれそうなときもあつたです。いろいろあつたけどみんなとロザリオのおいのりができてたのしかったです。



一ねん はまさき さやか

ありがとうございます。たのしかったです。おいのりをたくさんおぼえました。みなさんとおいのりがたくさんできてうれ

しかったです。さいごにおかしをもらえてうれしかったです。わたしがおいのりをしたことは、かぞくのみんながげんきでくらせるようにです。10がつもロザリオのおいのりにがんばってきたいとおもいます。



一ねん しらはま みく

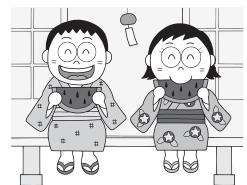
たのしかったです。ロザリオがすきです。いんかんがいっぱいもらえてうれしいです。

ロザリオのうたがたのしかったです。きょうかいがすきです。おねえちゃんおにいちゃんとおいのりをしたのがたのしかったです。おかしをいっぱいもらったのがうれしかったです。みさはねむたかったです。がっこうよりきょうかいのほうがたのしいです。10がつのおいのりもがんばります。



ルルド祭で花巻きした浦頭の子供たち

二年 入口駿一朗



せいぼげつのおいのりをおわってぼくはときどきこれなかったけどこれるときはがんばってききました。おいのりをしているときはねむくなるときもあつたけどおいのりはできました。きょう会でみんなとおいのりするのはたのしかったです。これからもみんなとたのしくおいのりをしていきたいです。

植木剪定作業

去る5月16日、シメオン・アンナ会による教会植木の剪定作業が、五月晴れのさわやかな午後より行なわれた。この日は、シメオン・アンナ会のメンバー15名と壮年会8名が加わって、剪定、消毒、肥料と3時間に渡って、さわやかな汗を流した。

参加された神父様や、シメオン・アンナ会、壮年会の皆さん大変お疲れさまでした。

きっと来年も教会の庭を花達

お詫び

第183号で、秘跡・結婚のところ

ろで誤字がありました。スエミ → スミエ (誤) (正)

すみませんでした。

## おたより

皆様の御苦勞、お察しいたします。小教区報は大変大きな役割をもっていきます。みなさんで力をあわせ、がんばって下さい。

広島司教 三末 篤實

編集長をはじめ、島のひかりを作成して頑張る皆さんに奉納します。

大浦教会 川口 清神父様

島のひかりを灯し続けるのは本当に、ご苦勞の多いことと思いますが、そのひかりを待っている人々が多くいることを思い続けて下さいますように、お祈りさせていただきます。

東京都 Sr 赤尾津奈恵

私も八十九才になりました、仕事もできずにあります。去年十一月に金祝を祝ってもらいましたが、やっと生きていますばかりです。

諫早市小長井 Br 浜口 宏衛

ふるさとのニュースに毎号感謝しております。私のいる教会は若者の教会離れが多く、今、若者の集まる教会になるようにと、取り組みをしています。

香川県丸亀市 梅木 正

三十八年本当に大変な努力の賜物を心から感謝申し上げます。福岡県行橋市新田原修道院

Sr 浜辺シズエ・Sr 浜口シズエ

編集に当たって皆さん、ご苦勞さんでしようが、家内と二人で楽しみにしています。

三田市 梅木栄二郎

昨年の秋、父の生地である久賀島へ行くことができ大変うれしく思いました。その際、木口汽船の方、タクシーの運転手さん、堂崎教会の窓口の方など皆様にお世話になりました。

神奈川県 川脇 武

若い頃、堂崎に十六年程住んでいたの、なつかしい故郷、

島のひかりで、色々とニュースを知る事が出来るので、何より楽しみです。木場町 白浜 ツル

私も年をとって目が見づらくなってしまいました。とても残念ですが、前回号を最後の島のひかりとさせて下さい。

北九州市八幡 濱口ヨシエ

私は、水ノ浦出身ですので、故郷が恋しくなりません。11月1日が来ますと、79歳になります。年を重ねますと特に故郷が懐かしく涙したりします。

千葉県市原市 山口ヨシノ

同年代の人達が古里の教会で役員になり、ご活躍をしている事に元気をもらいます。

大田市 深堀ひとえ

皆様のご苦勞を心より感謝しています。いろいろのニュースを伝えて頂き、ほっと心のなごむ一時です。末永く続きますように願っています。

匿名

故郷の懐かしいお便りいつも感謝しています。

大分県臼杵市 聖母の騎士修道女会

五島は祖母のふるさともあるせいか、時おり五島のおいが感じられます。

大村市植松 田代 弘

スタッフの方々のご活躍ぶりに感謝いたしております。

宮崎市 Sr 浦 シズ子

皆様方のご活躍をお祈りします。長崎市三景台 濱口 長一

絶やすことなく、ますます光を放ち続けて下さいますように。佐世保市 Sr 赤尾 律子

神父様はじめ浦頭教会のご発展をお祈り申し上げます。

鎌倉市 Sr 入口ミチヨ

TVに五島がでると、本当になつかしく古里があることは、何よりも素晴らしいことです。

東京都昭島市 梅木イサエ

各号、盛りだくさんの故郷の便りを心待ちにさせて頂いております。 福岡市 中尾 末喜

島のひかりの関係者、日夜おつかれさまです。島のひかりが小さくなりそうとのこと。

皆々様、力を合わせ、これからも、もっともって強くなって大きな光で、世の光になるよう祈りの中に頑張りますよ。

長崎市 浦 宗一  
いつも島のひかり、ありがとうございます。これからも島のひかり編集部みなさん頑張って下さい。

長崎市 入口 正明

### ありがとう

この度、幾多の方向より、本紙への御芳志頂きありがとうございます。小教区と小教区から遠くに住む愛読者との絆を深めて頂き、心より感謝致します。編集部一同これからも頑張ります。

長崎市	入口	正明
長崎市	浦	宗一
長崎市	Sr 浜	恵美子
長崎市	Sr 浜	チセ子
福岡市	中尾	末喜
福岡市	中尾	末喜
豊田市	浜	京子
由布院	大川	神父
宮崎市	Sr 浦	シズ子
長崎市	濱	長一
出津町	片岡	久司神父
東京都	梅木	イサエ
黒島町	Sr 赤尾	律子
浦頭	奥浦	修道院
長崎市	小島	カズヨ
大宰府市	匿	名
岐阜県	田口	シヅル
豊橋市	竹山	順一
浦頭	赤尾	一美
浦頭	木口	武雄
広島市	三末	篤實司教
三田市	梅木	栄二郎
丸亀市	梅木	正
東京都	Sr 赤尾	津奈恵
福江	Sr 泉	松一
鎌倉市	Sr 入口	ミチヨ
長崎市	浜	長一

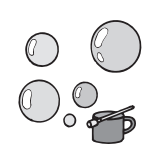
福岡市	匿	名
東京都	辻本	奈津代
岐阜市	赤尾	幸治
千葉市	入口	春男
大分県	潔き	聖母修道院
福岡市	木口	栄
市原市	山口	ヨシノ
長崎市	川口	清神父
福岡市	堂崎	正義
大村市	深堀	ひとえ
北九州市	濱	ヨシエ
福岡市	白	ツル
神奈川	川脇	武
小長井町	Br 浜	宏衛
川西市	種	村登代子
大阪府	浦	八夫
名古屋	名古屋	村政春
長崎市	大田	春枝
東京都	崎	濱
行橋市	Sr 濱	口シズエ
行橋市	Sr 濱	口シズエ
大村市	田	代弘
富士市	入	口清
大分県	匿	口名
諫早市	木	口涼
大阪府	赤	尾時

晴れるといいね!

今年、開催される予定の下五島小教区對抗の運動会、梅雨の時季でもありますし確か前回は雨で中止でした。今回は晴れるといいですねの言葉に思わず、「うんどうかい」の懸念が、計らずも当り今回も中止になりました。

代替に浦頭小教区内で、近くの小学校体育館でソフトバレーボールとペタンクを行うことになり、即席のチーム編成です。で、日頃の運動不足の人には珍しい、好プレー数々あり、汗いっぱい、笑いいっぱいの試合となったようです。

慰労会も行なわれ、予定されました運動会の景品の配布も無事終了。疲れた体にはお酒の配布もあり、皆様本日はお疲れさまでした。



# 結婚おめでとう

5月1日(土)、浦頭小教区で久しぶりの小教区どうしの結婚式が9時30分より行なわれた。



結婚者は、堂崎の入口信さん(仁兵・悦子)と、浦頭の竹山理恵さん(要司・スミ子)で、二人は青年会の活動を通して、結婚を意識し合うようになったのでしよう。今、堂崎教会駐車場で新生活を送っている。若者が少ない町内や、小教区に少し光をもたらしてくれる事を期待しています。ガンバレ

# ふるさとだより

## 陸上でV

梅木 萌美



私は、五月二十三日にあってバレーボール

の試合で、県大会に行けなかったので、陸上で絶対に県大会に行こうと思いながら毎日練習してきました。練習では、今まで以上に、気合いを入れて臨みました。

大会当日、時計を何度も見る程とても緊張していました。スタート直前、私の心臓は周りの人に心音が聞こえそうなくらい、ドキドキしていました。

結果が放送された時、「ヨッシャー」と思わず叫んでしまいました。本当にうれしかったです。県大会では、今まで以上に、いい結果が出せるようこれから

毎日練習を頑張っています。あと、本番では楽しんで走りたいたいと思います。

## ファミリー・ピット

Open

籠淵町に五月一日、浜脇教会の議長・木村栄さんの次女、理絵さんのレストランがオープン。理絵さんは栄養士の資格を持ち、幼児を育てながら奮闘する母親に癒しの場を提供したいと思いつき、父親に改造依頼。親子合せて二十名程入れる店舗が完成した。

営業時間は、週日は十時〜午後四時。土、日は十一時〜午後四時。小学生以下の子供一人以上含むグループなら入店OK。



# 編集後記

近年、景気低迷・就職状況悪化・政治不信等々、何かと良くないニュースが多かったですが、小惑星探査機「はやぶさ」の7年ぶりの帰還・サッカーワールドカップでの日本代表の健闘(決勝トーナメント進出・ベスト16)という話題は日本中を元気にしてくれました。

いくつかの問題点を科学者・技術者達のチームが英知を結集して乗り越え、史上初めて月以外の天体に着陸して、往復60億kmを飛行し無事に帰ってきた「はやぶさ」。ワールドカップ開催前の大方の予想を覆し、「個々の力を全てチームの為に」と選手達の強力で献身的なチームプレーで勝ち進んだサッカー日本代表。

個々の自由も良いですが、互いに助け合い、同じ目的の為に力を合わせれば、不可能そうだなと思えた事まで、できるんだなあと感じた次第です。

木口 武雄